

平成26年8月20日豪雨 ～高瀬堰では～

- 平成26年8月19日からの豪雨により、高瀬堰のある広島市安佐南区や安佐北区では、74名の死者を出す大規模な土砂災害が発生しました。
- 高瀬堰においても、上流から大量に流れててくる流木がゲートに漂着し、ゲートの全閉操作が不能となる事象が発生しました。
- 高瀬堰貯水池内の水は、広島市や呉市、遠くは瀬戸内海の島を含む、約160万人に利用されています。ゲートの全閉操作ができないことは、すなわち貯水池内の水位が下がり、いずれは取水ができなくなる事態を引き起こします。
- そこで、高瀬堰では、災害時の協力業者へ流木除去作業を依頼し、併せて取水している関係自治体と調整を図り、水の利用の少ない夜間に一時的に水位を下げ、貯水池内に重機を搬入し、全閉操作の支障となっている流木の撤去を行いました。



ゲートからあふれそう！！

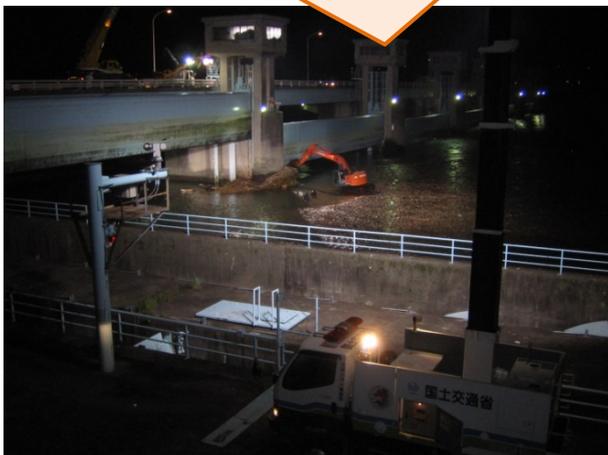
流木漂着状況



流速があり撤去作業も限界有り！！

高瀬大橋よりゴンドラを使って水面まで降りて撤去作業

長時間の水位低下は取水に影響する為、迅速な作業が必要！！



夜間に貯水位を減らして、貯水池内で作業

長さ10m級の巨木！！



ゲート下に引っかかった巨木を撤去